

大阪府大阪市都心部方言の副助詞

鍋木 昌博

I. はじめに

- (1) 調査対象地：大阪府中央区久宝寺町。同町は市内中心部の商業地域で、船場の東約1キロにある。
- (2) 調査年月日：1998年3月8日（日）
- (3) 話者：氏家由紀子 昭和3年1月27日生（70歳） 主婦
- (4) 調査者・調査場所：鍋木昌博、話者宅
- (5) 調査方法：統一調査票による質問調査
- (6) その他：①アクセント表記は、声の上がり下がり、「^ˆ」「^ˊ」で表す。なお文末の上昇イントネーションは省略する。
②N. Rは無回答

II. 調査結果

(1) 添加・例示・提題などをあらわすもの

A. 添加 《さえ・も》

1. 雨だけでなく風さえ吹いてきた。 ○ア「メ^ˆダケ^ˆヤ 「ノ^ˆーテ 「カゼ^ˆモ フイテ「キ^ˆタ。
2. 今年は豊作で、米ばかりか麦もよくとれた。 ①「コトシワ ホーサクデ コ^ˆメ「ダケ^ˆヤ 「ノ^ˆーテ {①ムギ「カ^ˆテ／②ム「ギ^ˆモ} 「ヨ^ˆー ト「レ^ˆタ。／②「コトシワ ホーサクデ 「コ^ˆメ「ダケ^ˆト チ^ˆゴテ {①ムギ「カ^ˆテ／②ム「ギ^ˆモ} 「ヨ^ˆー ト「レ^ˆタ。

B. 予想外の事実 《さえ・だけ》

3. 小学生でさえ簡単にワープロを使っている。 ○{①「ショーガ^ˆクセー「デ^ˆモ／②「ショーガ^ˆクセー「カ^ˆテ} カンタン「ニ^ˆ 「ワープロ 「ツコテル。
4. (宝くじが) 当たると思っていなかっただけに嬉しい。 ○「アタル^ˆト 「オモテ^ˆヘ「ン^ˆカッタサ^ˆカイ 「ウレ^ˆシー。

C. 条件 《さえ》

5. 暇さえあれば釣りに行っている。 ○「ヒマサ^ˆエ アッ「タ^ˆラ 「ツリ イッテル。

D. 例示 《でも・ほど・まで・など・やら・なり・なんて》

6. まあお茶でも飲んでください。 ○「マ^ˆー {①オチャ^ˆ「デ^ˆモ／②オチャ^ˆ「ナ^ˆト} ノンデ「クダ^ˆサイ。
7. みやげにはこのまんじゅうなどどうかな。 ○「ミヤゲワ コノ マ^ˆンジュー

「ナンカ」「ド」ヤロ。

8. 思わず跳び上がるほど嬉しかった。 ○「オモワ」ズ 「トビアガルクライ」ウ
レシ」カッタ。
9. まさかあなたにまで話が行くとは思わなかった。 ○マ「サ」カ 「アンタニ」
マデ 「ハ」ナシガ 「イク」オモワ」ナダ。
10. なぐるやら蹴るやらの乱暴をはたらいた。 ○「ナグル」ヤラ 「ケル」ヤラノ
「ランポーオ」ハタラ」イタ。<「ヤラ」の使用は少ないように思われる>
11. 私になり相談してくれれば良かったのに。 ○ワタシ「ニ」ナリ 「ソーダンシ
テク」レ」タラ 「ヨ」カッタノニ。
12. 野菜なんていくらでもできる。 ○ヤサ「イ」ナンカ ナンボ「デ」モ 「デキ
ル」。

一対の語の例示 《だって》

13. しょうゆだってみそだって作っていたんだ。 ○「ショ」ーユカテ ミ「ソ」カ
テ ツクッ「テ」タンヤ。（「ダッテ」とは言わない）

択一 《なり》

14. 私なり弟なりがお手伝いに行きます。 ○ワタ「シ」ナリ 「オトート」ナリガ
オ「テ」ツダイニ 「イキマス」。

例外でない 《とて》

15. 村長とて、そうするより仕方なかったんだらう。 ○「ソ」ンチョー」カテ 「
ソナイ セント ショーナ」カッタンヤロ。（「トテ」とは言わない）

列举 《も》

16. 春らしくなって、梅も桜も一度に咲いた。 ○ハルラシ 「ナツ」テ 「ウメ」
モ 「サクラ」モ 「イッ」ペンニ 「サ」イタ。

同類の暗示 《も》

17. テレビもそろそろ買い替えよう。 ○テ「レ」ビモ 「ソ」ロソロ 「カイカエ
ヨ」。

やわらげ 《でも》

18. まあお茶でも飲んでください。 ○「マ」ー {①オチャ「デ」モ/②オチャ「
ナ」ト} ノンデ「クダ」サイ。

E. 包括 《など》

19. 盆には子や孫などが帰ってくる。 ○ボン「ニ」ワ 「コドモ」ヤ 「マ」ゴガ
「カエッテ」ク「ル」。（わざわざ「ナド」とは言わない）

F. 提題 《だって》

20. ゲートボールだってできるよ。 ○「ゲートボ」ールカテ 「デキル」ヨ。（
「ダッテ」とは言わない）

話題にあげる 《って》

21. 何だい、いいことって。 ○ナ「ン」ヤ エー 「コ」トテ。

極端なものの提示 《でも・くらい・すら・も》

22. そんなこと子供にでもできるよ。 ○「ソ」ンナ コ」ト {①「コ」ドモカ」テ/
②「コ」ドモデ」モ} 「デ」キル 「デ」。

23. 食べることにくらいは何とかしたい。 ○タベル 「コ」トク」ライワ ナ「ン」
トカ 「シ」タイ。

24. 名前すらろくに覚えていない。 ○「ナ」マエ」モ 「ロ」クニ オボエテ」ヘン。

25. 弁当代に千円もかかった。 ○「ベ」ントーダイニ 「セ」ン」エンモ 「カ」カ
ッタ。

軽いものをあげる 《さえ》

26. これさえあればもう大丈夫だ。 ○「コ」レサ」エ アッ「タ」ラ モー 「ダイ
ジョ」ーブヤ。

(2) 分量・程度・基準などをあらわすもの

G. 分量・程度 《ほど・くらい・ばかり》

27. 旅行で三日ほど家をあけた。 ○リョコーデ 「ミ」ツカホド イ」エオ 「ア」
ケタ。

28. 茶碗に半分くらいください。 ○チャワンニ {①「ハ」ンブング」ライ/②「ハ
ンブンホド} 「クダ」サイ。

29. 子供にでもわかるくらいのやさしい本だ。 ○「コ」ドモデ」モ 「ワ」カルグライ
ノ ヤサ」シー ホ」ンヤ。

30. 一週間ばかり留守にするので頼むよ。 ○{①イ」ッシューカン「グ」ライ/②イ
ッシューカンホド} 「ル」スニ 「ス」ルサ」カイ 「タ」ノム 「デ」。

H. 基準 《ほど》

31. 今年の寒さは去年ほどではない。 ○「コ」トシノ 「サ」ム」サワ 「キョ」ネ
ン「ホド」ヤ ナ」イ。

I. 理由 《ばかり》

32. ちょっと油断したばかりにとんでもないことになった。 ○「チョ」ツ」ト 「ユ
ダン シ」タタ」メニ トン「デ」モナイ 「コ」トニ ナッ「タ。(「バカリ
ニ」は少ない)

J. 「それにふさわしく」 《だけ》

33. 苦労しただけあって人間ができています。 ○「ク」ロー シ」タダケ アッ「テ
」ニンゲンガ 「デ」キテル。

形式名詞的用法 《なんか》

34. 毎日孫の守りやなんかで忙しい。 ①マイ「ニ」チ 「マゴノ」リ「モリデ」イソガ「シー。 (「～ヤナンカ」とは言わない) / ②マイ「ニ」チ 「マゴノ」リ「モ」リ「ヤナ」ン「ヤデ」イソガ「シー。 <提示> (少)

「それこそ」 《こそ》

35. それこそバケツをひっくりかえしたような大雨だ。 ○「ソレコ」ソ 「バ」ケツ 「ヒックリカ」エシタミ「タイナ」オ「ア」メヤ。

「～ばかりか」 《ばかり》

36. 父ばかりか母もスポーツ好きだ。 ○「チチオヤダケ」ヤ ノ「ー」テ 「ハハオヤ」モ スポーツ「キ」ヤ。 (「バカリカ」とは言わない)

K. 今にも行われる 《ばかり》

37. もう食べるばかりにしてある。 ○「モー」タベラレル「ヨ」ーニ 「シテ」ア「ル。 (「バカリニ」とは言わない)

動作の完了直後 《ばかり》

38. 今、仕事から帰ったばかりだ。 ○イマ 「シゴトカ」ラ 「カ」エッタ ト「コヤ。 (「バカリ」とは言わない)

基準 《まで》

39. 駅までもうちょっとだ。 ○「エキ」マデ モー 「チョッ」トヤ。

L. 等量の反復 《ずつ》

40. 一人ずつ呼んで話をした。 ○ヒトリ「ズ」ツ 「ヨ」ンデ 「ハ」ナシオ 「シ」タ。

M. 等量の配分 《ずつ》

41. 一人に二個ずつみかんをやる。 ○「ヒト」リニ ニコ「ズ」ツ 「ミ」カンオ「ヤル。

(3) 限定・限界などをあらわすもの

N. 限定 《しか・だけ・ばかり・きり》

42. 酒はたまにしか飲まない。 ○「サケワ」タマニ「シカ」ノ「メ」ヘン。

43. 今朝は寝坊をしてパンだけ食べて来た。 ○ケ「サ」ワ 「ネポー」シ「テ」 「パン」 「ダケ」 「タ」 「ベ」テ 「キ」タ。

44. そんなに勉強ばかりしていると体に毒だよ。 ○「ソナイニ」ベンキョー「バツ」 「カ」リ 「シテ」タラ 「カラダニ」ド「クヤ」デ。

45. うちの田が残っているきりで、よそは全部終わった。《田植えのこと》 ○「ウチノ」 「ターガ」 「ノコッテルダケデ」ヨ「ソワ」ゼ「ン」ブ 「オ」ワッタ。 (「キリ」とは言わない)

O. 強調 《しか・こそ》

46. もうこれだけしかないよ。 ○モー 「コンダケ」シカ ナ「イ」デ。
 47. 今年こそいい年にしたい。 ○「コトシコ」ソ エー 「ト」シニ 「シ」タイ。

P. 限界 《だけ・まで》

48. これだけ言っても分からないのか！ ○「コンダケ ユ」ーテモ 「ワカラン」ノ カ。
 49. 2千円くらいまでなら何とかなる。 ○ニセンエン「グ」ライマデヤツ「タ」ラ ナ「ン」トカ ナ「ル」。

(4) 陳述的なもの

Q. 「～ば～だけ」 《だけ》

50. 肥料をやればやるだけよく育つ。 ○「ヒ」リョーオ 「ヤツ」タラ 「ヤツ」ダケ ヨ」ー 「ソ」ダツ。
 「假定形・ば・こそ」 《こそ》
 51. 心配すればこそ言うんだ。 ①「シンパイ シテルサ」カイ ユーテン 「ネン」。
 /②「シンパイ ス」レバ「コ」ソ ユーテン 「ネン」。<提示>

「こそ・假定形」 《こそ》

52. 彼は文句こそ言え、人の言うことなど聞かない。 ○「カ」レワ モ「ン」ク「コ」ソ イ」エ 「ヒト」ノ ユー コ」トナンカ 「キ」カヘン。<提示>
 53. 「～でこそあれ《コサレなども》」という言い方はありますか。 ○なし

「未然形・ば・こそ」

54. 押しても引いても動かばこそ。 ○N. R

「～こそ」 《こそ》

55. 失礼なこと言わないでこそ。 ○N. R

「～こそ～が」 《こそ》

56. 今でこそ家から出ないが、昔はよく出歩いていた。 ○イマデ「コ」ソ 「イ」エカラ 「デ」ーヘンケ」ド ムカシワ 「ヨ」ー 「デア」ルイテ」タ。

「～ば～ほど」 《ほど》

57. 働けば働くほどもうかる。 ○「ハ」タラ」イタラ 「ハ」タラクホド モーカル。

R. 打ち消しとの呼応 《まで》

58. 村長に聞くまでもないことだ。 ○「ソ」ンチョーニ 「キク」マ「デ」モ ナイ 「コ」トヤ。

否定との呼応（それさえもない） 《も》

59. 朝から忙しくて昼飯も食えない。 ○ア「サ」カラ 「イソガシ」ーテ 「ヒル」メシ」モ ク「ワ」レヘン。

否定的取り上げ 《など》

60. こんなものなどいくらでもあるよ。 ○「コンナ モ」ンナンカ ナンボ「デ」
モ ア「ル」ワ。

全面否定 《だって》

61. 誰だってそんなことを言われたら怒るよ。 ○ダレ「カ」テ 「ソンナ コ」ト
「イワ」レタラ 「オコル」デ。

S. 次の動作が不可能 《きり》

62. 10年前に故郷を離れたきり、一度も帰っていない。 ○「ジューネンマ」エニ
「コ」キョーオ {①「ハナ」レタ「キリ」/②「ハナ」レタッ「キリ(強調)」
イッペ「ン」モ 「カエッテ」ヘン。

(5) モダリティー的なもの

T. 不確かな気持ち 《やら・か》

63. いつのまにやら眠ってしまった。 ○イツノ {①「マニ」ヤラ/②「マニ」カ
「ネテシ」モタ。

64. 何のことか分からない。 ○ナンノ {①「コ」トヤ/②コッ「チャ」 「ワカ
「レ」ヘン。

推定 《か》

65. 後で遊びに行くかもしれない。 ○ア「ト」デ アソビニ 「イク」カモ 「ワ
カ」ラン。

どちらか分からない 《やら》

66. 来るのやら来ないのやらよく分からない。 ①ク「ン」ネヤラ 「ケ」ーヘンネ
ヤラ 「ヨ」ー 「ワカ」ラン。/②ク「ル」ノンカ 「ケ」ーヘンノンカ 「
ヨ」ー 「ワカ」レヘン。

はっきり言わない 《やら》

67. どこやらへ引っ越したそうだ。 ○「ドコ」ヤラエ 「ヒッコシ」タソ「ー」ヤ。

U. 非難 《たら・てば》

68. お父さんたら今日も遅いのね。 ○オ「ト」ーサン ユ「ー」タラ キョ「ー」モ
「オ」ソイ 「ネン」ナ。(「タラ」は言わない)

69. お父さんてば、子供のようなことを言って。 ○オ「ト」ーサン ユ「ー」タラ
「コドモミ」タイナ コト ユ「ー」テ。(「テバ」は言わない)

Ⅲ. 総括(まとめ)

当該方言で使われる副助詞の中で、特色ある方言形として挙げられるのは、やはり「カテ」である。本調査で「カテ」が出現した項目は、添加(2)・予想外の事実(3)・一対の語の例示(13)・例外でない(15)・提題(20)・極端なものの提示(22)・全面否

定(61)であり、広く添加と類推の意味でよく用いられている。方言形では他に、例示ややわらげの意味を持つ「ナト」があるが、こちらは衰退傾向で「デモ」に取って代わられつつある。山本俊治氏の「大阪府の方言」(『講座方言学7』所収)には、限定の「ヨカ」「ホカ」が挙げられているが、本調査では得られなかった。

(かぶらぎまさひろ・大阪教育大学教育学部附属高等学校平野校舎)